

蚊生息状況調査地点における、地点管理者に対する蚊防除に係る助言指導

あまのさとし
○天野賢、川西里佳、山下富也、渡辺哲行、北原誠治、刑部宏孝、小川裕司、伊藤誠委子、
山原康裕、上野雄也、伊藤靖之（生活衛生センター）

1 目的

本邦におけるデング熱やジカウイルス感染症等の蚊媒介感染症の患者報告数は、ほとんどが輸入症例であるものの毎年数百例報告されている。また、平成 26 年に東京都を中心に発生したデング熱のように、国際化の進展とともに輸入症例を起点とした国内感染症例が発生する可能性も高まっている。このため、平常時においてベクターとなる媒介蚊の密度を低減することは、不快害虫対策の観点のみならず感染症対策の観点からも非常に重要である。生活衛生センター（以下、当センターとする。）では、平常時における蚊の生息調査を実施してきており、蚊生態に関する知識の集積がある。これらを還元して市民の健康に寄与するべく、助言指導という形で地点管理者にコミュニケーションをとり、防除意識の向上を図ることを本事業の目的とした。

2 方法

平成 29 年度に CO₂トラップ等により蚊の生息調査を実施した市内の調査地点のうち、人が多く集まる地点や当センターの蚊生息調査において捕集数が多かった地点などを考慮し、市内の 6 地点の公園等を助言指導の対象として選定した。助言指導を行う前には地点内を実地に確認し、蚊幼虫発生源や蚊成虫潜み場所の状況等を確認した。この結果をまとめて管理者に通知し、防除意識の共有を図った。

3 結果及び考察

市内の 6 地点の公園等において、蚊防除に係る助言指導を計 58 件行った。その対象項目別のまとめを図 1 に、これらに対する助言指導の内容を表 1 に示す。最も項目別件数が多かったのは、「水が溜まる構造物等」であった。これらの撤去や修繕を促したものの、予算措置が必要であることから直ちに改善することが難しい事例も多かった。次に項目別件数が多かったのは「ブルーシート・ビニールシート」で、これらは屋外に置かれた機材等を覆うのに使用されているが、シワがよっているために水が溜まっている又は溜まる可能性があるという事例であった。このような非常に小さい水域には蚊幼虫が高密度に発生していることを過去に観察しているため、水が溜まらないようにシワを伸ばす、一週間程度ごとに定期的に確認するなど、注意して使用するよう助言指導した。3 番目に件数が多か

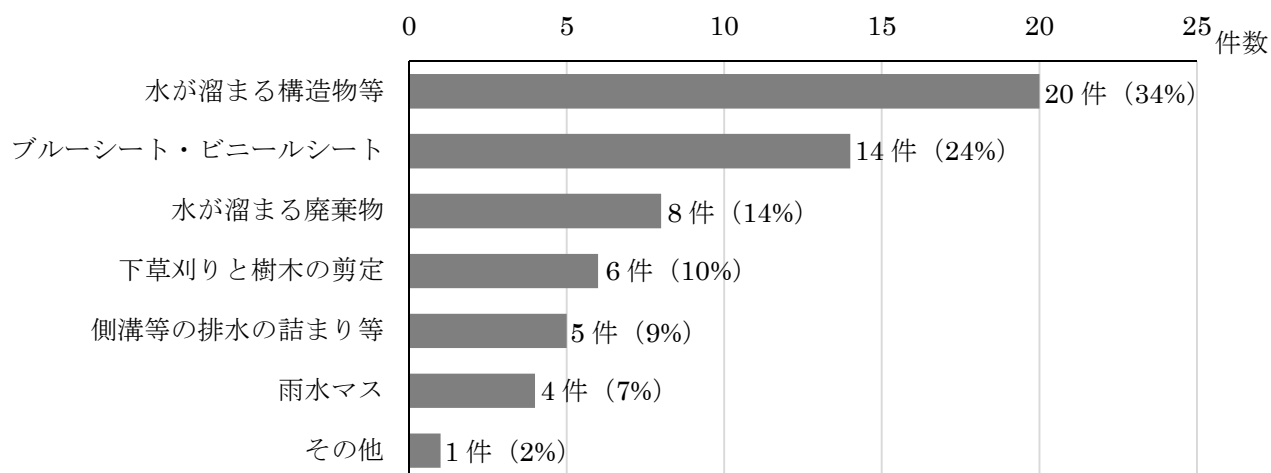


図 1 蚊防除に係る助言指導の対象項目別まとめ

表1 蚊防除に係る助言指導の内容まとめ

水溜まりをなくすこと。	ブルーシート・ビニールシート
	水が溜まる構造物等
	側溝等の排水の詰まり
	水が溜まる廃棄物
適宜下草を刈り、樹木を剪定すること。	
雨水マスは水が溜まり発生源となる。適宜清掃を行うこと。	
観賞用水草の溜め水は適切に管理すること。	

公園・緑地・道路等の管理者さまへ ～蚊の少ない街を目指して～

1 ポウフラ対策

雨水マスを定期的に清掃しましょう！

- 詰まって水が溜まると、蚊が卵を産みつけます。
- ポウフラは、落ち葉の表面、虫の死がい、汚泥などの腐植質を食べて成長します。
- 空き缶やブルーシート等の水溜まりも無くしましょう。



落ち葉



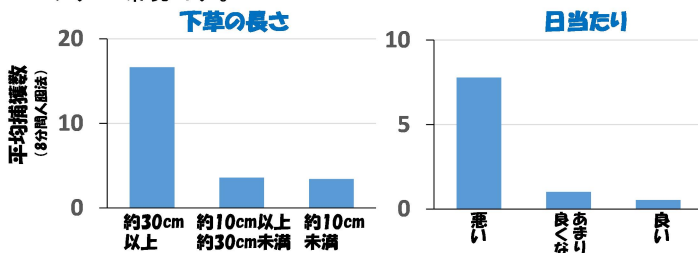
ダンゴムシ

落ち葉の表面や虫の死がいの腐植質(微生物、有機物等)を食べています。

2 成虫蚊対策

下草刈りや樹木の剪定を行いましょう！

- 下草が長く、樹木が生い茂って日当たりが悪い場所は、蚊が潜みやすい環境です。



生活と環境, 平成29年11月号, 60-62. より改変

(名古屋市生活衛生センター感染症対策係 TEL:052-721-0191)

図2 助言指導に用いた蚊防除リーフレット

4 まとめ

6 地点の公園等の管理者に蚊防除に係る助言指導を計 58 件行った。公園等の管理者は、利用者や近隣住民等から蚊に係る苦情の申出を受けることもある。そのため、蚊の生態や防除方法に係る知識を習得したいと希望している管理者もいたことから、講習会形式等による、より詳細な情報提供も必要と考える。今後とも、不快害虫対策及び感染症対策の観点から、公園等の管理者に蚊生息調査の結果を還元するとともに、蚊防除に係る助言指導を実施する。

った「水が溜まる廃棄物」は、地点によって清掃の頻度やイベントの多寡に差があり、廃棄物が著しく多い地点や長期間放置されている地点などが見受けられた。これらは蚊発生源になりうる旨を説明し、清掃の頻度等を検討するよう助言指導した。4 番目に件数の多かった「下草刈りと樹木の剪定」は、唯一の蚊成虫に係る項目で、蚊幼虫の発生を防除するだけではなく、蚊成虫が潜みにくい環境づくりを行うよう促したものである。なお、4 件指導した「雨水マス」は、4 地点において地点内雨水マスの位置を調査し、清掃の必要性等についてそれぞれ助言指導したものである。項目別に 1 件のみ計上した「その他」は、観賞用水草の溜め水から蚊幼虫が発生していた事例で、溜め水を一週間程度ごとに定期的に交換する、魚を入れるなど適切に管理するよう助言指導した。

助言指導を行う際には、当センターが捕獲し観察した蚊幼虫の食性や、当センターが調査した蚊成虫の生態をまとめて作製したリーフレット(図2)を使用した。蚊幼虫発生源をなくすことはもちろん、物理的防除に重点を置いたリーフレットにすることにより、管理者が日々の管理として取り組みやすいように考慮した。